

「未病いやしの里センター（仮称）」の設置推進について

1 趣旨

「県西地域活性化プロジェクト」に基づき、県西地域を「未病の戦略的エリア」としてアピールしていくため、未病に関する総合的な普及啓発を行うとともに、地域の活性化につながる「にぎわい」を創出するための核となる拠点施設として、民間事業者が主体となって整備する商業施設を「未病いやしの里センター（仮称）」に位置付ける。

2 経緯

センターの設置に向けては、早い段階から協議会で情報共有を図りながら、その推進を図ってきた。これまで設置場所やコンセプト等に関する概略提案の募集・審査を行い、応募のあった4件の中から最優秀提案を採択した。

平成26年3月 県西地域活性化プロジェクト策定

10月 第3回協議会で、センターの役割や機能についての考え方を説明

平成27年3月 第4回協議会で、提案募集の方法、スケジュールを説明

5月14日～7月14日 民間事業者等から概略提案を募集

8月18日 提案者によるプレゼンテーション、審査委員会開催

9月3日 最優秀提案（概要）の公表

3 最優秀提案について

- ・提案者 (株)ブルックスホールディングス、大井町
- ・設置場所 足柄上郡大井町山田300番他（現・ブルックス大井事業所）
- ・敷地面積 607,878.22m²
- ・提案概要 別紙のとおり

4 今後の予定

今後、県及び提案者が連携して基本計画を策定し、未病いやしの里センター（仮称）について、「県西地域活性化プロジェクト」の計画期間である平成32年度までの出来る限り早期の設置（開設）を目指す。なお、センター内の個別の施設については、可能なものからスタートできるように、段階的な開設も検討する。

また、県が設置・運営する施設（県展示施設）については、平成29年度中の開設を目指す。

平成28年3月 提案者が基本計画（案）を作成（平成28年3月完成予定）

平成28年度中 基本計画の決定・公表、県展示施設の基本設計・実施設計

平成29年度中 県展示施設の設備・内装工事、県展示施設開設

【参考】センターの機能

「未病いやしの里センター（仮称）」は、県西地域を「未病の戦略的エリア」としてアピールする核となる施設であることから、未病を治す取組みの普及やそれに必要な「情報発信機能」、個人の未病の状態をチェックし、未病を治す地域資源等の紹介・案内等を行う「未病の見える化・地域コンシェルジュ機能」、集客のための「にぎわい機能」などを備えるものとする。

このうち、情報発信機能及び未病の見える化・地域コンシェルジュ機能については、「未病」を治す取組みを推進している県が実施主体となる。

| 機能 | 目的・検討例 | 実施主体 |
|---------------------|---|-----------|
| 情報発信機能 | <ul style="list-style-type: none"> 未病についての知識を深める 誰もが理解できる分かりやすい「未病」の解説 「未病」に関する最新の研究や機器の展示 | 県が設置・運営 |
| 未病の見える化・地域コンシェルジュ機能 | <ul style="list-style-type: none"> 未病の状態をチェックし、未病を治す地域資源の体験を提案する 「未病」の状態をチェック・相談できるパーソナルサポート 「未病を治す」地域の施設やスポットの紹介・案内 | |
| にぎわいの創出機能 | <ul style="list-style-type: none"> 訪れる人を引きつけ、地域の「にぎわい」を創出する 「未病」に関するショッピングモールなど集客施設の併設 地域の名店などによる健康食の提供や魅力的な商業機能の集積 | 事業者が整備・運営 |
| 「未病を治す」その他機能 | <ul style="list-style-type: none"> 未病を治す機能を多彩に集約する 「未病を治す」医療サービスの提供 ウォーキングなどの運動メニューやアクティビティ | |

提案された「未病いやしの里センター(仮称)」のイメージ

既存施設も活用しながら、広大な敷地を生かした施設設計を行います

